

J. Smagorinsky and S. Manabe (U.S. Weather Bureau)

“Some results from a theoretical model of vertical heat transfer.”

S. Kubota (Met. Res. Inst.)

“The energetic structure of the atmosphere over the northern hemisphere.”

11 th

9: 30~12: 30

GENERAL CIRCULATION AND
LONG-RANGE FORECASTS II

J. Spar (New York Univ. U.S.A.)

“Experiments with an integrated diabatic prediction model.”

Y. Mintz (Univ. of California, U.S.A.)

“Some numerical studies of planetary circulations.”

S. Matsumoto and M. Aihara (Met. Res. Inst.)

“Numerical experiment of the general circulation.”

K. Miyakoda (Tokyo Univ.)

“500 hour barotropic forecast.”

14: 00~17: 00

Panel Discussion on

“OUTLOOK FOR THE FUTURE OF
NUMERICAL WEATHER PREDICTION”

J.G. Charney

A. Eliassen

K. Gambo

G.W. Platzman

F.G. Shuman

Conferees

12 th

EXCURSION TO HAKONE

学 界 消 息

1. チリ地震津波

5月23日南米チリ沖で大地震が発生し、高汐、火山爆發も起り、新聞によるとこのためコーチン地方には2つの新しい湖が出来、地すべりで埋った谷もあり、チリ南部では小さな島が海中に没し、新らし島が発生した。チリ南部の死者は約5,000名に達したと云われる、

この地震による津波は太平洋を横切り、24時間かかって24日午前4時頃から、日本の全太平洋沿岸に襲来した。その最高波高は八戸の5.0mが最大であった。新聞によると、シドニーでも4フィートの高汐があり、高汐のため、ハワイでは50名以上、ホンコンでは30名以上の死者がでた。

2. 台風第2号

台風第2号 (Lucille) は5月28日フィリピン島のロン島をおそい、大洪水を起し160名以上の死者を出した。

3. ニューデリー・モスクワ間のテレタイプ回線

WMO シノプティック気象委員会第2回会議の報告にもとづく北半球資料交換組織 (NHEC) の一部をなすニューデリー・モスクワ間の duplex テレタイプ回線は1960年1月1日06 GMT からデータの送信を開始した。

4. 山岳気象会議

第6回国際山岳気象会議は1960年9月19日からユーゴスラビアの Bled で開かれる。討議内容は高・低気圧発生に与えるアルプスの影響、フェーンおよびボラ、山岳の降水に対する影響、アルプスの気象などである。

5. 和達理事渡欧

和達長官は6月27日から7月15日までジュネーブで行なわれるWMOの第12回執行委員会、および7月25日から8月6日までヘルシンキで開かれるIUGG第12回総会などに出席するため6月24日夜東京空港を出発、8月10日ごろ帰国の予定である。